



Title	間谷論集 第11号 表紙
Author(s)	
Citation	間谷論集. 2017, 11
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/89837">https://hdl.handle.net/11094/89837</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 第十一号

## 間谷論集

## 研究論文

角道 正佳	1
Alderete, John D. (1999) <i>Morphologically Governed Accent in Optimality Theory</i>	
の日本語のアクセントの分析の問題点	
中田 一志	25
終助詞研究のあり方—「よね」を例にとって—	
真嶋潤子・櫻井千穂	41
CLD児の複数言語能力の関係について—大阪府下の公立小学校での調査研究より—	
伊藤 翼斗	59
会話における引用開始前の手続き	
榎原 実香	85
極限のモと普遍数量詞の統語構造	
伊澤 明香	105
CLD児への日本語指導体制づくりに関する一考察 —公立学校の管理職経験者へのインタビュー調査をもとに—	
高 一波	135
異なる移動局面に見る移動性の差異	
カオ・レ・ウン・チ	155
アクティブ・ラーニングに向けた日本語カリキュラム改善における教師の役割 —プロジェクト型学習を実施しているホーチミン市師範大学の試み—	
ベレジコワ・タチアナ	181
日本における人形の近代的役割—1920-40年代の国際交流と外交を中心に—	
劉 玲芳	211
「東遊日記」に描かれた日本人の身装文化 —日清修好条規の調印から日清戦争の勃発前までの時期を中心に—	
馬 氷	237
人頭幢の変容—持物から見目嗅鼻へ—	
二本松 泰子	(1)
中近世における鷹術流派の展開と伝承文化 —加賀藩の鷹匠・依田氏の鷹書を事例として—	
張 研君	(29)
三条西実隆の知的関心—経学関係の漢籍を中心に—	

会務報告・会則細則・投稿規定・2015年度会計報告

2017年3月

日本語日本文化教育研究会